

飯 子どもから大人まで釣果を競う 田沼釣り大会

飯田沼釣り大会が5月13日、大曲の飯田沼釣り公園で開かれました。

大会は、市内の釣具店や仙北漁業協同組合、大曲へら鮒釣研究会の協賛を得て、飯田沼愛護会(田口誠一会長)と市が共同で開催。小・中学生の部と一般の部に合わせて20人が参加し、釣果を競いました。大会の成績は次のとおりです。〈敬称略〉

【小・中学生の部】▼小学生の部優勝=小木田悠斗(花館小4年)▼同準優勝=佐藤あかり(同4年)▼中学生の部優勝=加藤雄平(西仙北中1年)▼同準優勝=佐々木龍馬(大曲中1年)▼大物賞=加藤雄平(22.5㌔)▼珍魚賞=小木田悠斗(ウグイ) **【一般の部】**▼優勝=橋本明(仙北)▼準優勝=吉沢次郎(大曲)▼第3位=今野康一(西仙北)▼大型賞=千葉清(大曲・27.9㌔)



22.5㌔のへら鮒を釣り上げ、中学生の部優勝と大物賞の2冠に輝いた加藤君

石 地域に根ざした献身的な活動が認められ 山美恵子さんが 母子愛育会会長表彰を受賞

母子保健と福祉の向上などを目的に全国的に行われている愛育会活動。大仙市神岡愛育会の副会長を務める石山美恵子さん=北橋岡=が恩賜財団母子愛育会会長表彰を受賞しました。

石山さんは平成15年に神岡愛育会に入会し、17年からは会長として同会の活動をけん引(23年からは副会長)。乳幼児のいる家庭や高齢者世帯への声掛けなどを通じて近隣同士のつながりを深めるなど、地域に根ざした健康づくり活動に尽力されてきました。

「表彰は、神岡愛育会の皆さんと一緒に積み重ねてきた活動が評価された結果」と石山さん。「これからも力を合わせて活動を続けていきたい」と受賞の喜びを話してくれました。

恩賜財団母子愛育会会長表彰を受けた石山さん



力 「市の鳥」の営巣地を観察 ワセミ観察会

カワセミ観察会が5月13日、神岡の中川原コミュニティ公園内の川岸で行われ、約30人が参加しました。

市の鳥に指定されている「カワセミ」は、コバルトブルーの背とだいたい色の腹に長くちばしを持っている鳥。水辺に生息し、警戒心が強く人家にあまり近づかないため、普段目にするのが少ない鳥です。

観察会は、多くの人に貴重な鳥を見てもらいたいと日本野鳥の会会員の鈴木三郎さん=北橋岡=が市に開催を提案。早朝の肌寒い中、双眼鏡やカメラを手に集まった参加者は、土手から約40㍍離れたカワセミの営巣地を観察しました。



1 姿を見せたカワセミを見ようと望遠鏡をのぞきこむ参加者 2 カワセミ(鈴木三郎さん撮影)



通行者を誘導しながらカーブミラーを清掃

高 カーブミラー 151カ所を清掃 高建設株式会社が地域貢献活動

高建設株式会社(高貝芳彦代表取締役)の従業員13人が5月11日、太田でボランティア活動を行いました。

この活動は、同社が地域への貢献活動として行っているもので、今回はカーブミラーの清掃を実施。通行者を安全誘導しながら、151カ所のカーブミラーを手作業で丁寧に磨き上げました。

作業した従業員は「道路利用者が安全に通行できるように一生懸命作業した。これからもボランティア活動をして、いろいろな形で地域に貢献していきたい」と話してくれました。

余 約1,500発の花火が夜空を彩る 目さくら花火鑑賞会

余目さくら花火鑑賞会が4月28日、大曲内小友の余目公園で開かれました。

今年で7回目を数える鑑賞会は地元住民でつくる実行委員会(三浦正彦委員長)が開催。地元企業や住民の協賛を得て約1,500発の花火が打ち上げられ、来場者は約1時間にわたって春の夜空を彩る花火を堪能しました。

日中は、「西仙北太鼓の会 刈和野大綱太鼓」の子どもたちによる演奏や地元の方々によるバンド演奏、歌謡ショーなどが行われたほか、屋台では地元産の「余目ほたるそば」などを販売。「企業や地域の協力を得て過去最大規模で開催できた」と実行委員長を務める三浦さん。「地元のつながりを深めて、地域活性化につなげたい」と意気込みを話してくれました。



春の夜空を彩ったフィナーレ花火



栗林市長と雄清水雌清水を守る会の齋藤久会長がLED照明を点灯

宿 豊富な湧水と水車を活用し発電 農村公園に小水力発電施設を整備

宿農村公園水車小水力発電施設点灯式が5月11日、西仙北大沢郷の宿農村公園で行われ、施設を管理する宿自治会(齋藤繁吉会長)と「雄清水雌清水を守る会」(齋藤久会長)の会員など約30人が参加しました。

小水力発電施設は既存の観光用水車(直径2㍍・幅50㌔)を利用。多くの人に親しまれている湧水「雄清水・雌清水」に隣接しています。雄清水・雌清水の周辺から湧き出る水のうち毎分60㍍を使い、水車を回して蓄電。水を汲みに公園を訪れる方々のために、毎日夕方の3時間程度、発光ダイオード(LED)照明1基を灯します。今後はLED照明を1基追加する予定で、農村公園内の街灯の電源をすべて水力に切り替えることも検討しています。

「宿農村公園は水をくみに毎日たくさんの人が訪れる場所」と宿自治会長の齋藤繁吉さん。「雄清水雌清水を守る会の皆さんと協力し、湧水と施設を大切にしていきたい」と話してくれました。

大 子どもの読書活動を推進 大曲図書館が 文部科学大臣表彰を受賞

大曲図書館が平成24年度「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、文部科学大臣表彰を受けました。

市では、平成22年に「大仙市親子の夢を育む読書活動推進計画」を策定。4カ月児健診の際に絵本などをプレゼントし、親子で本に親しんでもらう「ブックスタート事業」や小学生による図書館の感想文を館内に掲示する「ミニミニ感想文」、図書館ボランティアの方々が子どもたちに絵本などの読み聞かせをする「おはなしを聞く会」など、さまざまな角度からの取り組みが評価されました。

市では、市内の各図書館での取り組みのほか、子ども読書支援サポーターの配置などを通じて、保育園・幼稚園、小・中学校と連携し、子どもたちの読書環境の向上に積極的に取り組んでいます。(関連記事24ページ)



毎週水曜日、図書館ボランティアの方々が大曲図書館で行っている「おはなしを聞く会」

大 大仙警察署との相互連携を強化 仙市の暴力団排除に関する 合意書締結式

市と大仙警察署による暴力団排除に関する合意書締結式が4月24日、市役所で行われました。

市と大仙警察署が連携して暴力団の排除を推進するため、3月に制定された大仙市暴力団排除条例に基づき相互の情報提供や支援などの方法について合意したものの。

締結式では栗林市長が「暴力団排除のための基本理念『恐れない』『利用しない』『資金を提供しない』」の意識を浸透させ、全的に暴力団排除の機運を高めたい、渡部大仙警察署長が「市民の安心・安全のために市と協力し、一体となって取り組みを進めていきたい」とあいさつ。暴力団の排除に向け、相互に連携することを確認しました。



老松副市長から長寿祝い金を受け取る寺田さん

寺 いつまでもお元気で 田八重さんが100歳に

大曲の角間川在住の寺田八重さんが5月1日、100歳の誕生日を迎えられ、2日、老松副市長から長寿祝い金が贈られました。

角間川生まれの寺田さんは11人兄弟の8番目。昭和5年に秋田師範学校(当時)を卒業し、小学校の教師を33年間務めました。退職後は自宅でピアノ教室を開き、踊りやコーラス、料理など多彩な趣味活動を90歳ごろまで続けました。

現在は、長男夫婦、孫夫婦、ひ孫3人の8人暮らし。今も自分の歯が22本あり、これまで何度も表彰されているという寺田さん。長寿の秘訣は「好き嫌いをせず、なんでもよく噛んで食べる」と話します。

かつての教え子から贈られたお祝いの花に囲まれ、優しい笑顔を見せる寺田さん。いつまでもお元気で。



合意書に署名・押印する栗林市長と渡部大仙警察署長(写真左)



こ 大きな夢を育もう こころのプロジェクト「夢の教室」

こころのプロジェクト「夢の教室」が5月8日に豊川小学校(清水小学校と合同)と東大曲小学校で、9日に角間川小学校(藤木小学校と合同)と大川西根小学校(内小友小学校と合同)で行われ、各小学校の児童112人が参加しました。

夢をもつことの素晴らしさと目標に向かって努力することの大切さを子どもたちに伝えようといわれた教室。元プロサッカー選手でアトランタオリンピック日本代表として出場した田中誠さん(8日)とアテネオリンピック柔道銀メダリストの泉浩さん(9日)を「夢先生」として講師に迎えました。

チームで協力し一つの目的を達成するゲームを体育館で楽しんだ後、教室で授業が行われ、二人の夢先生はこれまでの自身の歩みをたどりながら、目標を達成したときの喜びや挫折したときの体験、努力と周囲への感謝の大切さなどを児童に語りかけました。

参加した児童は「夢を叶えた人の話を聞き、夢に向かって努力することの大切さを感じた。自分も夢に向かって頑張りたい」と話してくれました。

1 将来の夢について児童と話す田中さん(豊川小)
2 泉さんの力強い一本背負いに驚きの声を上げる児童(角間川小)

統 新たな歴史の第一歩を祝う 合小・中学校3校で開校式

学校統合により誕生した神岡小学校(田口桂校長・226人)、南外小学校(小西肇校長・129人)、西仙北中学校(佐藤心一校長・214人)の開校式が5月1日と2日に行われました。

式典では、栗林市長が各学校に校旗を授与。児童生徒の代表が新生活への決意の言葉を述べ、新たな校歌を斉唱しました。

また、市緑化推進委員会(佐藤正雄会長)の協力のもと、3校ともに記念植樹が行われました。児童生徒はグラウンドの一角に手分けをしてヨウコウザクラを植え、新たな歴史の第一歩を祝いました。(西仙北小学校の開校式は7月14日に行われる予定です)



1 新たな校歌を斉唱する神岡小の児童
2 記念植樹でヨウコウザクラを植える西仙北中の生徒
3 南外小の開校式で小西校長から校旗を受け取る児童